

2026

2.1
No.1464

index

- ② 医療現場の人材確保へ
- ③ 取り組もう冬のデコ活
- ④・⑤ 特集 地域の食事を支える
食で笑顔と健康を
- ⑥・⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」ネットは「マイ広報紙」

福
よ
来
い
！

「願い事は何にしようかな」「しゃべっちゃ駄目なんだって」。目の前にはエビや力揚、タマゴの入った恵方巻。こどもたちは期待と緊張に胸を高鳴らせて、大きな口で頬張ります。

2月3日は節分。恵方巻はその年の縁起が良い方向を向き、願い事をしながら話さずに食べる福を呼び込む縁起物です。商売繁盛を願つて太巻き寿司を食べ習慣は、江戸時代に大阪で始まつたとされています。2026年の恵方は、南東です。大きく口を開き、今年の福を呼び込みましょ。



市内では約1400人の看護師たちが現場を支える

看護・介護職への助成

■転入奨励助成金…最大20万円

《対象》①市内医療機関や介護・障害福祉サービス事業所に就職または勤務する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など②市外から市内に転入一の全てを満たす方

■復職等奨励助成金…最大20万円

《対象》市内在住で、市内医療機関や介護・障害福祉サービス事業所に復職する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など

■奨学金返済助成金【医療機関勤務者のみ】

…最大20万円（最長3年間）

《対象》市内在住で①採用後3年未満の市内医療機関に勤務する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など②奨学金を利用して資格を取得し返済中一の全てを満たす方

65歳以上の人口は2030年に全体の30%を超えるといわれ、医療への負担増が問題視されています。担い手の確保に向けた対策が求められる中、市では助成制度や就職相談会などを実施。看護職の市内での就労を後押ししています。

助成や相談会で就職を支援

度を利用し、市内の病院に就職しました。奨学金返済助成金を利用して市内の病院で働く看護師は「病院内のポスターを見て制度を知った。生活しながら奨学金を返済していくのが大変な時もあるので、一部を支援してもらえるのはありがたい。今後も患者さんのために働いていきたい」と話します。

医療現場と同様に負担が増大している介護や障害福祉サービスの分野でも、担い手の確保を進めています。復職を目指す有資格者や転入者への助成金の交付に加え、介護資格の取得費用や事業所での研修費などを補助しています（左欄参照）。今後も医療・福祉サービスを維持するため、働き手の確保や働きやすい環境づくりに取り組んでいきます。

問 健康医療課 ☎ 225-2174
0 (介護保険のこと)・介護福祉課 ☎ 225-224
225-2225 (障がい福祉のこと)

全国的な高齢化の影響で、医療や福祉サービスの需要が高まっています。市ではサービスの担い手である看護職を確保するため、市内での就職や復職を支援。安心・安全で充実した医療の提供につなげていきます。

Zoom Up

市内での就職を後押し 医療現場の人材確保へ

詳細は市役所や中央図書館、市HPなどで確認できます。



詳細はこちら

厚木地区の病院で働きませんか

◆あつぎ地区 看護職合同就職相談会

厚木市・愛川町・清川村の13病院が、無料の就職相談会を開催します。

問 健康医療課 ☎ 225-2174

《日時》3月7日 12時30分～15時30分

《会場》あつぎ市民交流プラザ

《内容》病院による働き方などの説明会

《対象》看護職を目指す方や就職したい方、休職中で職場復帰を考えている方

申不要。

◆看護職復職支援研修

厚木市・愛川町・清川村の病院で、復職・再就職を希望する方のための研修を無料で実施しています。

問 厚木地区看護部長会（愛川北部病院）☎ 284-2121

《会場》市内・愛川町・清川村の病院

《内容》基礎知識や技術の学び直し、最新の医療技術習得のための講義や実技

《対象》市内・愛川町・清川村在住で看護師や准看護師免許を持ち、看護師として勤務していない方

申電話で希望する病院へ。



詳細はこちら

市民意識調査の結果概要

皆さんのまちづくりに対する考え方や意識の変化、ニーズなどを把握する調査を2年に1度実施しています。結果は、今後の市政運営に活用します。

調査期間 2025年7月1～20日

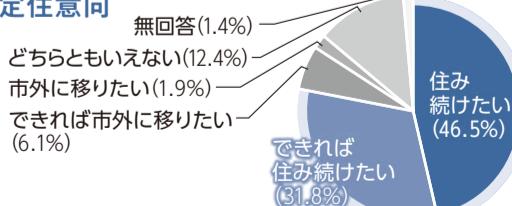
調査対象 無作為に抽出した18歳以上の市民（外国籍を含む）6000人

回収率 49.0%

市の現在のイメージと将来へ期待すること

順位	現在	将来
1位	自然環境の豊かなまち（41.9%）	居住・生活環境の整備されたまち（46.4%）
2位	都市と自然が共存しているまち（35.8%）	交通の利便性が高いまち（37.3%）
3位	花火大会や温泉のある商業・観光のまち（35.0%）	防犯・防災対策が充実したまち（36.6%）

定住意向



約78%の方が住み続けたいと回答（前回調査から1.0ポイント増）

問 広報シティプロモーション課 ☎ 225-2043



Zoom Up

2月は省エネルギー月間 取り組もう冬のデコ活

暖房の使用などによりエネルギーの消費が増える季節です。省エネルギーへの取り組みは光熱費を減らせるだけでなく、地球温暖化の防止にも有効です。この冬、みんなで省エネに取り組みましょう。

断熱窓で快適に

寒さが厳しい2月は暖房を使う機会が増加し、エネルギーの使用量は夏の約2倍に増えるといわれています。地球温暖化を引き起こす温室効果ガスは、エネルギーの使用で排出されます。未来に豊かな環境を残すには、一人一人が省エネ意識を持つて暮らしを工夫することが大切です。

温室効果ガスを無理なく減らす国民運動を、「デカーボナイゼーション（脱炭素）」とエコを組み合わせて「デコ活」と呼びます。中でも断熱窓の導入は、既存の窓の内側に新たなる窓を設置して二重にして、寒い時期に室外へ逃げる熱を減量。室内を暖かく快適に保てます。本年度は国の補助制度に市の補助を上乗せし、家庭への導入を後押し。断熱窓を取り入れた遠藤睦子さん（72・旭町）は、「冷暖房の効きが良くなり、一年中快適になった。家計の負担を抑えながら、環境にも優しい暮らしができる良かった」と話します。市では、デコ活を楽しく学べるオリ

オリジナル漫画を作成

漫画は市民協働事業として、「あつぎ気候市民会議」に参加した漫画家「きくち栄」さんが手がけました。小学生の「ナンデちゃん」と同級生の会話でストーリーが展開。漫画は市HPで見られます。



《漫画で分かること》

- ・断熱窓の効果や省エネ効果の高いDIYの方法などを解説
- ・脱炭素の実現に向けて家庭や会社ですぐに実践できる取り組みを紹介

詳細は[こちら](#)

デコ活に取り組もう

電気を省エネ 断熱住宅

断熱窓の導入
補助金を利用し、短期間の工事で導入ができます。

こだわる楽しさ エコグッズ

省エネ家電への買い替え
冷蔵庫（500㍑）は約12年前の製品と比べ、電気代を年間約1万1400円節約できます。

エネルギーの消費を抑えるには、常に取り組みに加え、省エネ性能に優れた家電への買い替えも効果的です。最新の冷蔵庫やエアコンは、従来に比べ省エネ性能が大きく向上。家計に優しく、環境にも配慮されています。2月は「省エネルギー月間」です。まずは身近なところから、無理なくデコ活を取り入れてみませんか。

環境政策課 ☎ 225-2746

環境に優しい生活を

ジナル漫画を新たに作成。家庭でできる取り組みや省エネに関する補助金などを、分かりやすく解説しています。

ボランティア募集

地域で子育て支援

地域で子育ての相談や育児を支援するボランティアなどを募集します。



■子育てアドバイザー

子育て支援センターのサロン室などで子育てを支援

■ほっとタイムサポーター

妊娠や乳児がいる家庭の家事や育児などをサポート

▲ファミリー・サポート・センター提供会員

子どもの一時預かりや保育園への送迎などをサポート

合同講習会

三つのボランティアの合同講習会を開催します。

日時 3月11日 10時～16時45分

12日 9～17時（全2回）

会場 あつぎ市民交流プラザ、消防本部

対象 市内在住の方30人（託児あり。1歳～小学3年生5人。2月24日までに要予約。先着順）。子育てアドバイザーは別途、保育所実習（半日）が必要。

申込 2月2～24日に■は直接、子育て支援センター☎225-2922へ。

▲は子育て支援センターや公民館にある申込書と証明写真2枚を直接、ファミリー・サポート・センター☎225-2933へ。先着順。

問 子育て支援センター☎225-2922

参加者募集

愛TV 2/1～

路線バス運転体験会

県央やまなみ協議会の5市町村（厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村）と神奈川中央交通が連携し、路線バスの運転体験会を開催します。

問 都市計画課 ☎ 225-2357



日時 ①2月24日 ②3月24日 10～14時

会場 神奈川中央交通秦野研修センター（秦野市曾屋620-1）

内容 大型バスの運転体験や営業所の見学。

希望者は採用担当者との面談も可。

対象 普通自動車運転免許を持つ58歳以下の方25人

（大型自動車第二種免許を持っている方は61歳まで）

費用 無料

申込①2月1～13日②3月13日までに神奈川中央交通☎0463-22-8811へ。市HPからも申し込み可。先着順。



路線バス運転士を募集

公共交通を維持するためには運転士の存在が欠かせません。皆さんの暮らしを支えるバスの運転士になりませんか。大型自動車第二種免許を持っていない方も応募できます。詳細は事業者に問い合わせてください。問 神奈川中央交通☎0463-22-8811



日頃の食生活など、受講者からの質問に答える狩野さん



ポイントを伝えながら料理を披露



食材に含まれる栄養なども学ぶ

栄養に関する情報を市HPに掲載

バランスの良い食事ってどんな内容?

カルシウムはどんな食材から取れるの?

1日に取る野菜の量ってどのくらい?

濃い味が好きだけど、塩分を減らすにはどうすればいいの?

日頃の食事のこつや食生活に関するポイントなどをまとめています。



詳細は[こちら](#)

気軽に相談を
生活習慣病
予防健康相談

健康や食事など、日々の生活中で気になる事や心配な事を相談してください。

日時 2月4日、3月2日
13時15分～、14時30分～
2月20日、3月18日
9時15分～、10時30分～
いずれも各回50分

**会場
内容
費用** 保健福祉センター
保健師や管理栄養士との面談
無料

申込 希望日の2日前までに健康医療課225-2201へ。先着順。



詳細は[こちら](#)

つなぐ
食育

市や厚味会の講座を受けた二人に受講のきっかけや学んだこと、これから目標を聞きました。



山崎 慎一さん (妻田東)

元々料理を作ったり食べたりするのが好きで、仕事を退職したのをきっかけに料理教室に参加しました。豚汁やだし巻き卵、デザートなど、レパートリーが増えて、家族との会話のきっかけにもなっています。今後も料理を楽しみながら、健康づくりを意識していきたいです。

藤原 たか子さん (旭町)

栄養や食の知識を身に付けたいと思い、受講しました。減塩や食材の生かし方などを学び、食の大切さや楽しさを実感しました。「バランスの良い食事って何だろう」と悩む方も多いかもしれません。学んだ内容を、周りの人たちへ伝えていきたいと思います。

講座でも使用する
レシピを紹介!

育児や仕事など時間がない時にも作れて栄養も満点です。

魚のトマト煮

- 1 魚に塩を振り、水気を拭き取りこしょうをかける。
- 2 フライパンにサラダ油を入れて、1を焼き付ける。
- 3 輪切りのジャガイモと玉ねぎ、トマト缶、白ワイン、コンソメ、水を加え、汁がなくなるまで煮込んで完成。



《材料》
好みのきのこ3、4種… 350g
オリーブオイル… 大さじ1
ニンニク… 1かけ
塩… 小さじ1/4
マリネ液
玉ねぎ… 50g(1/4個)
赤唐辛子… 1本
パセリ… 少々
黒こしょう… 少々
調味酢… 80cc
オリーブオイル… 大さじ3

きのこのマリネ

- 1 玉ねぎ、パセリをみじん切り。赤唐辛子は種を取って、ニンニクは叩いてつぶす。
- 2 フライパンにオリーブオイルとニンニクを入れて弱火で炒める。焼き色が付いたらニンニクを取り出す。
- 3 フライパンにきのこを入れて、火が通ったら塩を入れる。
- 4 きのこのニンニクを混ぜ合わせ、マリネ液をかけて完成。

《ポイント》
・マリネは冷凍保存も可能。
・パスタにあえたりごはんに混ぜたりと、アレンジも豊富。

特集 地域の食事を支える
食で笑顔と健康を

背中を押せるように
料理教室講師・栄養士
狩野 美和さん

「普段は何を食べていますか」
「食材の使い方や調理方法で困っていることはありませんか」
「食欲をそそる香りが漂う室内で、「食育アドバイザー養成講座」の受講者に優しく問い合わせるのは、料理教室を営む狩野美和さんです。栄養士として質問に答えながら、野菜のうまみの引き出しが下ごしらえなど、身ぶり手ぶりを交えて伝えています。

11年前から、自宅で料理教室を開いていた狩野さん。コロナ禍以降は教室を休止し、一人一人の要望に合わせた指導をしています。「料理に自信がない」「何から始めたらいいか分からず」と、料理に悩みを抱える人が狩野さんの下を次々と訪れます。若者から60代までと年代は幅広く、「家族に喜んでもらいたい」「自炊が出来るようになりたい」「健康になりたい」と目的はさまざまです。

指導は包丁の握り方、食材の切り方や炒め方などの基礎からスタート。その後は、同じ食材でレパートリーを増やすレッスンに進みます。「好きな食材をなるべく使いながら、料理を続けてほしい」。受講者の目的や好みを確認し、味付けや調理の

ことを伝えるなどのサポートも欠かしません。受講者からは「料理ができるようになった」「職場や家族との会話が増えた生活が楽しくなった」という声が多く寄せられます。

「いま食べたものが3日後、そして将来の自分をつくる」。専門学校卒業後は栄養士として保育所や医療機関に就職。離乳食や幼児食、患者の症状や体調に合わせた食事を手掛けました。2015年に念願だった自

狩野さんが料理の道を志したのは小学生の時です。自身が病気を患い食事制限をしている中で、母が栄養バランスを考えたお弁当を毎日作ってくれたことがあります。私も将来は料理教室を開けたい。そんな夢を抱きながら、や食事の大切さを学びました。教室が開かれたり、楽しそうにキッチンに立つ母の姿を見ていました。その後は、同じ食材でレパートリーを増やすレッスンに進みます。「好きな食材をなるべく使いながら、料理を続けてほしい」。受講者の目的や好みを確認し、味付けや調理の

ことを伝えるなどのサポートも欠かしません。受講者からは「料理ができるようになった」「職場や家族との会話が増えた生活が楽しくなった」という声が多く寄せられます。

狩野さんは料理の道を志したのは小学生の時です。自身が病気を患い食事制限をしている中で、母が栄養バランスを考えたお弁当を毎日作ってくれたことがあります。私も将来は料理教室を開けたい。そんな夢を抱きながら、や食事の大切さを学びました。教室が開かれたり、楽しそうにキッチンに立つ母の姿を見ていました。その後は、同じ食材でレパートリーを増やすレッスンに進みます。「好きな食材をなるべく使いながら、料理を続けてほしい」。受講者の目的や好みを確認し、味付けや調理の

ことができるから一歩ずつ

黄色と黒のエプロンに身を包み、笑顔で食事を楽しむ厚味会の皆さん。「おいしくたのしく健健康に。私たちの健康は私たちの手で」をモットーに、半世紀以上にわたって地域で食の大切さを伝え続けています。



食事を楽しみながら講座を振り返る川島さん(中央)や梅原さん(左)



説明を聞く受講者たち

地区ごとに公民館などで料理教室を開催

旭町)が入会したのは2006年。夫とともに、母親の3世代

で推進するため、1971年に設立。市の「食育アドバイザー養成講座」の受講者を中心に、市内10地区に分かれて活動しています。活動の幅は広く、公民館まつりや地区の催しなどに出向き、気軽に作れる料理の紹介やシニア向けの料理教室を開催。他にも市内の大学生を対象に講座を開くなど、幅広い年代を対象に活動しています。

会長の川島真理子さん(67歳)は、「食」の大切さを通じた健康づくりを市内に広げ、地域の催しなどに出向き、気軽に作れる料理の紹介やシニア向けの料理教室を開催。他にも市内の大学生を対象に講座を開くなど、幅広い年代を対象に活動しています。

「食」の大切さ

食生活の困り事は私たちへ
食生活改善推進団体
厚味会

食を通じた健康づくりを市内で推進するため、1971年に設立。市の「食育アドバイザー養成講座」の受講者を中心に、市内10地区に分かれて活動しています。活動の幅は広く、公民館まつりや地区の催しなどに出向き、気軽に作れる料理の紹介やシニア向けの料理教室を開催。他にも市内の大学生を対象に講座を開くなど、幅広い年代を対象に活動しています。

会員は、高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響などに伴い減少しました。現在は20代から90代までの100人程度が、地域の実情に合わせた食育の担い手として活躍しています。

厚木南地区で活動する梅原佳子さん(54歳、栄町)は、「地区のイベントには、20代から70代までの年代の方たちが来てくれます。『おいしかった』『また来たい』と笑って帰つてもらえるよう、今後も地域の人たちと一緒に活動を続けたい」と意気込

設立当初は200人近くいた会員は、高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響などに伴い減少しました。現在は20代から90代までの100人程度が、地域の実情に合わせた食育の担い手として活躍しています。

厚木南地区で活動する梅原佳子さん(54歳、栄町)は、「地区のイベントには、20代から70代までの年代の方たちが来てくれます。『おいしかった』『また来たい』と笑つて帰つてもらえるよう、今後も地域の人たちと一緒に活動を続けたい」と意気込

会員たちは毎月、地区ごとに集まってイベントの計画やレシピの考案などを相談。自宅で採れた野菜を持ち寄り、お薦めのレシピを教えて活躍しています。

う時代だからこそ、正しい方向に導くのが私たちの役割」と話す川島さん。県や市が開く研修にも足を運び、タンパク質の重宝性や災害時の食事法など、新しい知識を取り入れています。

厚木南地区で活動する梅原佳子さん(54歳、栄町)は、「地区のイベントには、20代から70代までの年代の方たちが来てくれます。『おいしかった』『また来たい』と笑つて帰つてもらえるよう、今後も地域の人たちと一緒に活動を続けたい」と意気込

会員たちは毎月、地区ごとに集まってイベントの計画やレシピの考案などを相談。自宅で採れた野菜を持ち寄り、お薦めのレシピを教えて活躍しています。

う時代だからこそ、正しい方向に導くのが私たちの役割」と話す川島さん。県や市が開く研修にも足を運び、タンパク質の重宝性や災害時の食事法など、新しい知識を取り入れています。

会員たちは毎月、地区ごとに集まってイベントの計画やレシピの考案などを相談。自宅で採れた野菜を持ち寄り、お薦めのレシピを教えて活躍しています。

う時代だからこそ、正しい方向に導くのが私たちの役割」と話す川島さん。県や市が開く研修にも足を運び、タンパク質の重宝性や災害時の食事法など、新しい知識を取り入れています。

会員たちは毎月、地区ごとに集まってイベントの計画やレシピの考案などを相談。自宅で採れた野菜を持ち寄り、お薦めのレシピを教えて活躍しています。

う時代だからこそ、正しい方向に導くのが私たちの役割」と話す川島さん。県や市が開く研修にも足を運び、タンパク質の重宝性や災害時の食事法など、新しい知識を取り入れています。

う時代だからこそ、正しい方向に

古びょうぶがアート作品に あつぎ市民交流プラザで井上純さんが公開制作



制作に没頭する井上さん

買い物中に立ち寄った親子は「大きなキャンバスが彩られていく様子を見るのは楽しむのが楽しみ」と笑顔を見せていきました。完成した作品は、2月2日からアミューあつぎ9階に展示します。

文化・芸術をより身近に感じてもらうため、本市出身のアーティスト・井上純さんにによる古びょうぶを使った作品制作の見学イベントを1月に開催しました。

作品には、文化会館で使用されなくなつた高さ約2・4m、幅約4・6mの古びょうぶ2枚を使用。井上さんが制作時に聞いている音楽が流れる中、古びょうぶには絵の具やスプレー、マーカーを大胆に使つた色鮮やかな絵が描かれました。

市民の命と地域を守る決意を 「消防出初め式」を開催

式では、荻野中学校吹奏楽部の演奏に合わせて48台の消防車両が行進。火災を想定した消防演技なども披露されました。式を締めくくる一斉放水では、消防団員がホースから赤や黄、青など鮮やかな8色の水柱を噴き上げ、観客を沸かせました。

家族で訪れた小池田洋祐さん(39)は「地域を守つてもらつていると実感した。火災予防など、できることから取り組みたい」と話し、息子の蒼葉さん(5)は「みんながつこよかつた。大きくなつたら消防士になりたい」と喜んでいました。

市民の防火意識向上させるため、1月に荻野運動公園で新春恒例の「消防出初め式」を開催。消防職員・団員など628人が、消防演技や一斉放水などを披露しました。



会場には約3600人の観客が訪れた

目指せ未来のアスリート

元プロ野球選手が「少年野球クリニック」で技術指導

市出身の元プロ野球選手・館山昌平さんは、野球教室を1月に玉川野球場で開催し、市内の小・中学生が守備や打撃の技術、競技に臨む姿勢を学びました。



野球経験のある123人が指導を受けた



「縁」未来へ紡ぐ道

「はたちのつどい」で2313人の門出を祝福

式典は、相模国飯山白龍太鼓による迫力あるパフォーマンスでスタート。山口貴裕市長は「これからさまざまな壁に直面すると思うが、失敗を恐れずに挑戦し、仲間と助け合いながら乗り越えてほしい」と祝福のメッセージを送りました。

出席した小川琴莉さん(19)は「今まで支えてくれた先生や親へ感謝したい。先生からのビデオメッセージを見たり、久しぶりに友達に会えたりしてうれしかった」と笑顔で話しました。



式典の様子はオンラインでも配信された

みんなの力でまちを元気に

あつぎの市民活動

ボランティアなどの社会貢献活動を支援するため、市民活動団体の登録制度を導入しています。連載では健康・スポーツ・文化芸術・福祉など、さまざまな分野の市民活動団体を紹介していきます。

① コミュニティカフェ荻野

地域に住む高齢者の交流の場として展示物、音楽などが楽しめるコミュニティーカフェ「Tobioギャラリー」を運営しています。2016年にスタートし、カフェ内はいつも笑顔であふれています。

ギャラリーを拠点に、生活の困り事の手伝いや荻野地区で巡回バスを提供するコミュニティ交通「ココモ」の運営、保育園や小学校での交流イベントの開催などを幅広く展開。地域の活性化に取り組んでいます。昨年は約6700人が立ち寄った



団体の詳細や問い合わせを希望する方は
市民協働推進課☎225-2101へ。

団体の一覧は
こちら



元日の朝、地元の皆さんと一緒に上飯山で初日の出を仰ぎました。空には雲がかかっていましたが、澄んだ空気の中で力強く昇っていく美しい朝日に、これから的一年への決意を新たにしました。

昨年は、市制70周年という大きな節目を迎きました。数多くの記念事業を重ねる中では、皆さんの中につぎ愛とまちへの誇りが深まっていることを実感しました。ここで生まれた絆を一過性のものとせず、次の4月には、今後10年のまちづくりの指針となる新たな総合計画がスタートします。将来都市像は「つながる未来都市-A-T-S-U-G-I」。人、技術、自然を未来へとつなぎながら、魅力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。



年頭記者会見で市政運営への思いを発表

10年、20年、そして30年後の100周年へと確かににつないでいくことが、私たちに課せられた使命であると考えています。私は年頭、市政運営への思いを「繋」との一文字に込めました。市民との決意を誓い合いました。

私は年頭、市政運営へ

タウンガイド

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

あつぎストリートフェス (市民協働提案事業)

2月21日、16時30分～18時30分。中町花の公園。ミュージシャンによるストリートライブ。無料。申不要。問文化魅力創造課☎225-2508。



環境シンポジウム

2月7日、13～15時。あつぎ市民交流プラザ。市内で活動する環境団体や高校による地球温暖化対策やカーボンニュートラルの取り組みの発表、環境への意見交換。定

緑のまつり ステージ出演団体・ 出展者

美しい花に彩られたステージでパフォーマンスを披露する団体、緑化や環境に関する活動をPRする出展者を募集します。

■「花と緑のステージ」出演団体
内容 ダンス、楽器演奏など（移動・準備時間含めて1団体15分以内）
対象 3人以上の団体



募集

●出展者
内容 緑化や環境に関する展示、即売、体験など
対象 市内や近隣市の企業・学校など

いずれも5月9・10日、10～16時。厚木中央公園。
申公園緑地課や公民館、市HPにある申込書を直接または郵送、ファクス、Eメールで3月2日(必着)までに〒243-8511公園緑地課☎225-2412・FAX225-3027・✉4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。■は抽選●は書類選考あり。詳細は市HPに掲載。



詳細はこちら

1月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆表紙写真が美しく華やかで、新年らしさがあってすてきだった／60代女性 ◆厚木にゆかりのある若者の活躍を見て、とてもパワーをもらえた／40代女性 ◆名取裕子さんの対談記事を読んで、改めて「あつぎ」の良さを実感した／60代男性 ◆厚木と毛利家のつながりに关心を持った。企画展も見に行きたい／70代以上男性 ◆日本の伝統を守る人たちがいることを知り、胸が熱くなった／50代女性

古民家岸邸のひな祭り

3月3日のひな祭りに合わせて、御殿飾りのひな人形など25点以上を飾ります。日本の伝統を感じてみませんか。

問あつぎ郷土博物館☎225-2515

■ひな人形の展示

日時 2月14日～3月15日

10～15時

■昔遊びと折り紙

日時 2月28日 10～12時

内容 ボランティアによる
折り紙や昔遊びの講座

いずれも古民家岸邸。無料。

申不要。



き、2月27日までに環境政策課☎225-2749・✉3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。■

応急手当普及員再講習会

2月28日、9～12時。消防本部。応急手当普及員の有効期限の更新や技能の維持・向上のための講習。有効期限(3年)以内で市内在住・在勤在学の普及員30人。3960円(テキスト代)。申2月2～10日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。■

厚木愛甲環境施設組合 事業報告会

2月28日、15時～16時30分。あつぎクリーンセンター。稼働状況などの報告と施設見学。申不要。問厚木愛甲環境施設組合☎297-1153。

全国瞬時警報システム(ジアラート) 全国一斉情報伝達試験

ジアラートの確認のため、防災行政無線で試験放送を実施します。

日時 2月6日 11時～

(予備日：2月20日)

※気象状況などにより中止の場合あり。

問危機管理課☎225-2190



《パブリックコメント》

子育て支援センター

リニューアル基本計画策定

《閲覧期間》2月2日～3月4日《閲覧場所》子育て支援センター、市政情報コーナー、公民館(睦合西を除く)、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市立保育所、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙に掲載。問こども家庭センター☎225-2926。

《意見交換会》

■市斎場条例の改正

2月14日、10時～11時30分。市斎場。申電話またはEメールにて住所、氏名、電話番号を書き、2月10日(必着)までに〒243-0214下古沢548市斎場☎281-8595・✉2650@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

■市立老人憩の家条例の改正

2月19日、19～20時。市役所第二庁舎。申不要。問福祉総合支援課☎225-2220。

厚木市 市民参加

検索



無料 あつぎにぎわい座

フルートとピアノの きらめくスプリング コンサート

日産自動車吹奏楽団と厚木市民吹奏楽団の団員3人による演奏を楽しめます。

日時 2月22日 ①11時～②13時30分～(各回30分)

会場 本厚木ミロード「ミロにわ」

申不要。

問文化魅力創造課☎225-2508



詳細はこちら



インターネット
モニターからの
意見を紹介



インターネットモニター募集中
厚木市 インターネットモニター 検索
広報シティプロモーション課☎225-2043

編集後記

栄養やコストの面で自炊の方が良いと思いつつも、コンビニや外食、宅配サービスなどについつい頼ってしまいます。今まで料理に対してのハードルが高くなっていましたが、取材を通じて「できることから始めるのが大切」と学びました。自信を持って言える得意料理はまだありませんが、肩の力を抜いて、家族に喜んでもらえるように楽しく料理を作りたいと思います／大矢



市の鳥エナガに決定

市制70周年を記念し、今後のまちづくりの新たなシンボルとする「市の鳥」の市民投票を昨年10月に実施しました。5751票の投票があり、「エナガ」が最多の1612票を集めました。

問企画政策課☎225-2450

投票結果	
 エナガ	1612
オオルリ	1395
フクロウ	1393
ツバメ	956
サンコウチョウ	395

大きさが日本で最小クラス。親鳥以外も子育てに参加するなど、群れで助け合いながら暮らす。森や林など市内全域で見られる。

 まちづくりイメージ

 コミュニティー・仲間

エナガの写真を募集

市HPなどで掲載するエナガの写真を募集します。申し込み方法などの詳細は市HPに掲載。

 愛TV 2/1~

 詳細はこちら

 参加者募集

あつぎ飯山桜まつり

満開の桜の下、一緒に祭りを盛り上げる方を募集します。問商業観光課☎225-2820

■ステージパフォーマンス
日^にち 3月28・29日
対^象 ダンスや歌、演奏などの団体3組(1団体30分以内)

●飯山花音頭
日^にち 3月29日
内^容 飯山の伝統ある踊りを踊る
対^象 練習会に参加できる方
練習会 3月11・16・24日、
19~20時に小鮎公民館で実施

▲さくら輿
日^にち 3月29日
内^容 女性のみで担ぐみこし
対^象 高校生以上の女性20人

いずれも会場は飯山白山森林公園桜の広場。申^し2月11日、
3月●3日▲18日までに市観光協会☎240-1220へ。協会HPからも申し込み可。抽選。





 詳細はこちら

申請は
2月20日から

1万円 の買い物で
6000円 を補助

あつぎ暮らし応援事業

市内店舗で買い物などをしたレシート1万円分以上を集めて申請すると、1人6000円の補助を受けられます。

対象レシート 2月1日~
申請方法などの詳細は市HPや
広報あつぎ2月15日号に掲載

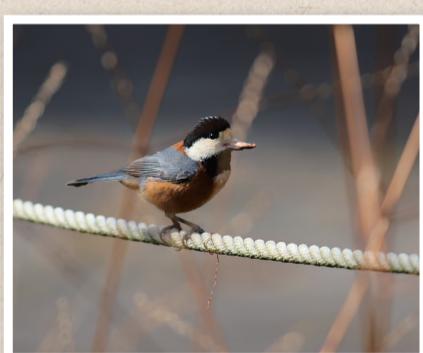
 詳細はこちら

問商業観光課☎225-2840

自然歳時記

● ヤマガラ ●
シジュウカラ科

体長14^{センチ}ほどで、スズメよりやや小さい。常緑広葉樹林を好み、背中と腹が赤茶色のカラ類。樹洞や巣箱にコツボゴケなどの苔類を使って巣を作る／あつぎこどもの森公園で見つけた。
写真・文／吉田文雄



「ニイーニイーニー」とヤマガラの地鳴きが聞こえる。双眼鏡で姿を追うと、目の前に飛んできた。ロープの上で木の実をくわえている。両足で挟んでコンコンと食べる姿に、バランス感覚の良さを感じた。

おみくじを引く鳥としても有名なヤマガラ。子どもの頃、祭りの夜

店にそのおみくじがあった。模型の神社に向かって鳥籠から出たヤマガラが歩き、鳥居の先にある鈴緒を引いて出たおみくじは大吉だった。美しくて賢いヤマガラに出会い、昔の楽しかった日を思い出した。いつもそばで見ていたいが、現在、野鳥は飼育が禁止されている。

厚木市の人口
(1月1日現在)

世帯数 10万7226世帯 (前月比65世帯減)

人口 22万2524人 (前月比108人減) 男11万4680人・女10万7844人